



PATENT APPLICATION

4/9/02  
PH  
#2

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the Application of:

Kyozo KOBAYASHI

Group Art Unit: 3626

Application No.: 09/938,525

Examiner: Unknown

Filed: August 27, 2001

Attorney Dkt. No.: 024015-00002

For: SEAT BELT COVER

**CLAIM FOR PRIORITY**

Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

April 2, 2002

Sir:

The benefit of the filing dates of the following prior foreign application/s in the following foreign country is hereby requested for the above-identified patent application and the priority provided in 35 U.S.C. §119 is hereby claimed:

Japanese Patent Application No. 2000-255041 filed on August 25, 2000

In support of this claim, certified copy of said original foreign application is filed herewith.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the requirements of 35 U.S.C. §119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of this document.

Please charge any fee deficiency or credit any overpayment with respect to this paper to Deposit Account No. 01-2300.

Respectfully submitted,

**RECEIVED**

APR 05 2002

**GROUP 3600**

Charles M. Marmelstein  
Registration No. 25,895

Customer No. 004372  
ARENT FOX KINTNER PLOTKIN & KAHN, PLLC  
1050 Connecticut Avenue, N.W.,  
Suite 400  
Washington, D.C. 20036-5339  
Tel: (202) 857-6000  
Fax: (202) 638-4810  
CMM:ars



日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 8月25日

出願番号

Application Number:

特願2000-255041

出願人

Applicant(s):

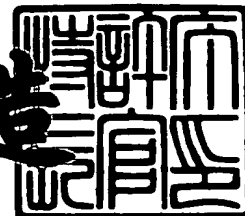
エル・ジャポン株式会社

RECEIVED  
APR 05 2002  
GROUP 3600

2001年 7月27日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3067715

【書類名】 特許願

【整理番号】 P090002-0

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B60R 22/00

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都世田谷区桜新町 2 丁目 1 0 番 4 号

    【氏名】 小林 京三

【特許出願人】

    【住所又は居所】 東京都世田谷区桜新町 2 丁目 1 0 番 4 号

    【氏名又は名称】 エル・ジャポン株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100084308

    【住所又は居所】 東京都千代田区神田小川町 3 - 6 日本分譲住宅会館ビル 岩見谷国際特許事務所

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 岩見谷 周志

    【電話番号】 03-3219-6741

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 043579

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 シートベルトカバー

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自動車のシートベルトを挿通して被包する略平筒体からなるシートベルトカバーにおいて、この略平筒体の下端の幅はスルータングの幅より大きくなっており、上部は先細に絞られていて、その上端はシートベルトは通すがスルータングは通さない幅になっていることを特徴とするシートベルトカバー。

【請求項 2】

シートベルト非使用時、シートベルトがリトラクターに巻き取られたとき、シートベルトカバーの上端はスリップガイドで止まるとともにスルータングはシートベルトカバー内に収納されるようになっていることを特徴とする請求項 1 記載のシートベルトカバー。

【請求項 3】

シートベルトカバーと乗員との非当接側に携帯電話機保持用のポケットを設けたことを特徴とするシートベルトカバー。

【請求項 4】

シートベルトカバーと乗員との非当接側に携帯電話機保持用のポケットを設けたことを特徴とする請求項 1 記載のシートベルトカバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、自動車のシートベルトカバーに関する。

【0002】

【従来の技術】

自動車のシートベルトは、自動車の衝突時に、乗員を座席に拘束して、乗員が慣性によりハンドル、インスツルメントパネルあるいは窓ガラス等に衝突するのを防いで、傷害の発生を防止又は軽減するためのものであり、走行時に装着することが義務づけられている。

## 【0003】

ところが、乗員が特に運転手の場合には、運転操作のために身体を上下・前後・左右に動かすのでシートベルトと衣服との摩擦により、シートベルトとの当接部、特に上着の肩や胸部にテカリや擦り切れ等が発生する。

## 【0004】

これを防止するために、シートベルトの特に肩や胸等との当接部をシートベルトカバーで覆うことが行われている。従来、このシートベルトカバーは、単に平筒体になっていてシートベルトに装着されているので、シートベルト非使用時、シートベルトがリトラクターに巻き取られたとき、シートベルトカバーの上端がスリップガイドの入口で止まっても、スルータングはまだ引かれるので、シートベルトカバーに蛇腹状のたるみが生じたり、スルータングが所定の位置にまで達しなくて止まってしまったりした。その結果、シートベルトが非使用時に所定位置に正しく格納されず、また美観を損ねるものであった。

## 【0005】

また、近年、PHSも含む携帯電話機が多く使用されており、自動車走行中に携帯電話機で通話することは、片手が拘束されたり、前方不注意になったりして、交通事故の元になっている。

## 【0006】

## 【発明が解決しようとする課題】

このような状況に鑑み、本発明の課題は、シートベルトと衣服との摩擦を防止して、上着の肩や胸部等のテカリや擦り切れを防ぐことができ、また、シートベルト非使用時において、シートベルトがリトラクターに巻き取られたとき、スルータングがシートベルトカバー内に収納されて、シートベルトカバーに蛇腹状のたるみが生じたり、スルータングが所定の位置にまで達しなくて止まってしまったりすることのないシートベルトカバーを提供すること、及び自動車走行中に携帯電話機での通話によって手が拘束されることなく、安全に運転をすることができるシートベルトカバーを提供することにある。

## 【0007】

## 【課題を解決するための手段】

本発明者は鋭意検討した結果、後述するようにすると上記課題が解決できるとの知見を得、本発明に到達した。

#### 【0008】

すなわち、本発明は、第一に、自動車のシートベルトを挿通して被包する略平筒体からなるシートベルトカバーにおいて、この略平筒体の下端の幅はスルータングの幅より大きくなっており、上部は先細に絞られていて、その上端はシートベルトは通すがスルータングは通さない幅になっていることを特徴とするシートベルトカバーを提供する。

#### 【0009】

また、第二に、シートベルトカバーと乗員との非当接側に携帯電話機保持用のポケットを設けたことを特徴とするシートベルトカバーを提供する。

#### 【0010】

##### 【発明の実施の形態】

以下本発明について詳細に説明する。

##### 〔シートベルトカバー〕

図1は、本発明のシートベルトカバー1をシートベルト2に装着したときの状態を示す概略図である。シートベルトカバー1は略平筒体になっていて、略平筒体の下端9の幅はスルータング5の横幅より大きくなっており、略平筒体の上部3は先細に絞られていて、その上端4の幅はシートベルト2の幅より大きく、スルータング5の横幅より小さくなっていて、シートベルト2は通すがスルータング5は通さないようになっている。ただし、上端4の幅はシートベルトよりやや大きい程度の幅でシートベルトに装着したとき、ずり落ちない程度になっていることが好ましい。

#### 【0011】

シートベルト非使用時、シートベルト2は車体内のリトラクター(図示せず)に巻き取られて、図2に示すようにシートベルトカバー1の上端4はスリップガイド6で止まるとともに、スルータング5はシートベルトカバー1の内部に収納されるので、シートベルトカバーに蛇腹状のたるみが生ずることなく、スルータング5は所定の位置に止まることができる。

## 【 0 0 1 2 】

図 3 は本発明のシートベルトカバー 1 の内側の展開図である。図 3 において、略長方形の一方の短辺の幅 a はスルータング 5 の横幅の 2 倍より大きい幅になっており、他方の短辺には中央部に切り欠き 7 が、両端に切り欠き 8, 8' が設けられ、切り欠き 7 及び両端の切り欠き 8, 8' を除く c, c' の幅はシートベルト 1 の幅より大きく、スルータング 5 の横幅より小さくなっている。略長方形の長辺の長さ b は肩・胸等に当接する長さより長くなっており、30cm 程が好ましい。略平筒体は、略長方形の中央線 10 を内側に折り、中央の切り欠き 7 の縁を接合又は縫合し、両縁には、例えばオープンタイプのファスナー又はマジックテープを設けておき、これを下端から上端にかけてまたは上端から下端にかけて係合させて形成される。

## 【 0 0 1 3 】

本発明のシートベルトカバーはシートベルトに装着したままにしておいても、非使用時には取り外しておいてもよい。

## 【 0 0 1 4 】

シートベルトカバーの素材としてはスルータングを収納するときに形状を保持できて、非摩擦性のものであればよい。例えば、フェルト等の厚手の布、合成皮革、革、キルティング等が挙げられ、また、肩・胸等の当接側を非摩擦性の素材にして、非当接側を形状保持性のある素材にしてもよい。

## 【 0 0 1 5 】

## 〔携帯電話機保持用ポケット付きシートベルトカバー〕

本発明の携帯電話機保持用ポケット付きシートベルトカバーのベースとなるシートベルトカバーは、上述した本発明のシートベルトカバーでもよいし、従来のシートベルトカバーでもよい。

## 【 0 0 1 6 】

図 4 (a) は従来のシートベルトカバー 1 に携帯電話機保持用ポケット 11 を設けた本発明のポケット付きシートベルトカバーを示す概略平面図であり、図 4 (b) は前述した本発明のシートベルトカバー 1 にさらに携帯電話機保持用ポケット 11 を設けた別のポケット付きシートベルトカバーを示す概略平面図である

。携帯電話機保持用のポケット 11 は携帯電話機が収納できるようなサイズになっていればよい。ポケットの素材としてはなんら限定されず、前記シートベルトカバーの素材と同じものを用いてもよいが、ポケットの素材としてネット又はメッシュ状のものを用い、これに携帯電話機を挿入しておく、ポケットの素材に音声は遮られずに通話できるので、自動車走行中においても手が電話に拘束されずに安全に運転することができる。

【0017】

図 5 は、シートベルトカバー 1 に設けた携帯電話機保持用ポケット 11 に携帯電話機 12 を挿入して通話しているときの状態を示す図である。このとき、マイクロホン 13 およびイヤホン 14 を設けた延長コード 15 の端の接続端子 16 を携帯電話機 12 のイヤホンジャックに挿入して接続し、マイクロホン 13 が口の近くにくるように設定しておく、自動車走行中においても手が電話に拘束されずに安全に運転することができる。

【0018】

また、このとき使用する携帯電話機としては、次のようになっているものを使用することがより好ましい。すなわち、図 6 に示すように、マイクロホン 13 およびイヤホン 14 を有し、携帯電話機本体と接続端子 16 によって接続されている延長コード 15 において、接続端子 16 とマイクロホン 13 の間にストッパー付き巻き取り装置 17 を、マイクロホン 13 とイヤホン 14 の間にストッパー付き巻き取り装置 17' を設けておき、ストッパー付き巻き取り装置 17 によって、マイクロホン 13 がシートベルトカバー 1 の上（胸の上）にあって、ちょうど音声を拾う位置になるように接続端子 16 とマイクロホン 13 の間を調節し、またストッパー付き巻き取り装置 17' によって、マイクロホン 13 とイヤホン 14 の間の延長コードの弛みを除いておく、明瞭に通話することができ、延長コード 15 の絡みを防止することができてより安全である。

【0019】

ストッパー付き巻き取り装置とは、コードを自動的に巻き取ることができ、しかも巻き戻されたコードが所要の長さとなるように巻き取りを随意に停止させることができる構造を内蔵した装置であり、例えば巻尺、電気掃除機等のコード

の巻き取り機等に広く利用されている周知慣用の装置であり、例えばイヤホンにこの装置を設けたものとして特開平10-294984号公報等に開示されているものが挙げられる。

#### 【0020】

##### 【発明の効果】

以上のように、本発明のシートベルトカバーをシートベルトに装着すると、シートベルトと上着との摩擦を防止することができて、上着の肩や胸部にテカリや擦り切れを防ぐことができる。また、シートベルト非使用時、シートベルトがリトラクターに巻き取られたとき、スルータンクをシートベルトカバー内に収納することができ、シートベルトカバーに蛇腹状のたるみが生じたり、スルータンクが所定の位置にまで達しなくて止まってしまったりすることがない。したがって、シートベルトは所定位置に正しく格納され、美観も損なわれない。

#### 【0021】

さらに、携帯電話機保持用ポケットを設けたシートベルトカバーのポケットに携帯電話機を挿入しておく、通話のために手が拘束されることなく安全に運転することができる。

##### 【図面の簡単な説明】

#### 【図1】

本発明のシートベルトカバーをシートベルトに装着したときの状態を示す概略図である。

#### 【図2】

シートベルト非使用のときのシートベルト及びシートベルトカバーの格納状態を示す概略図である。

#### 【図3】

本発明のシートベルトカバーの内側展開図である。

#### 【図4】

シートベルトカバーに携帯電話機保持用ポケットを設けた状態を示す概略平面図である。

#### 【図5】

シートベルトカバーに設けた携帯電話機保持用ポケットに携帯電話機を挿入し、通話をしているときの状態を示す図である。

【図 6】

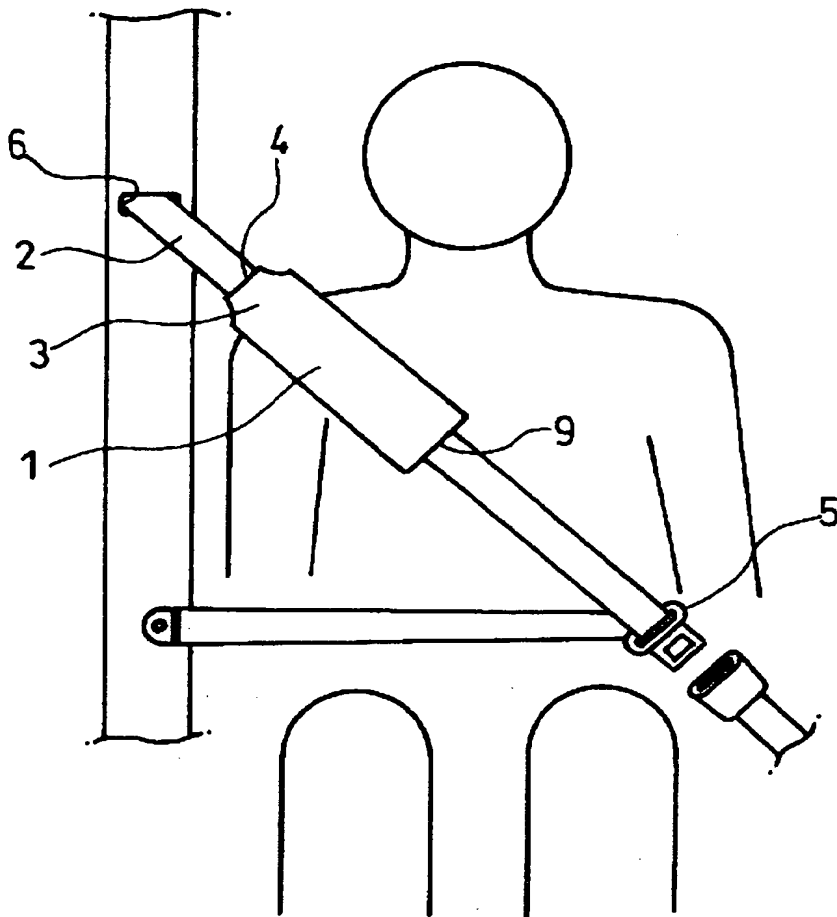
シートベルトカバーに設けた携帯電話機保持用ポケットに他の携帯電話機を挿入した状態を示す図である。

【符号の説明】

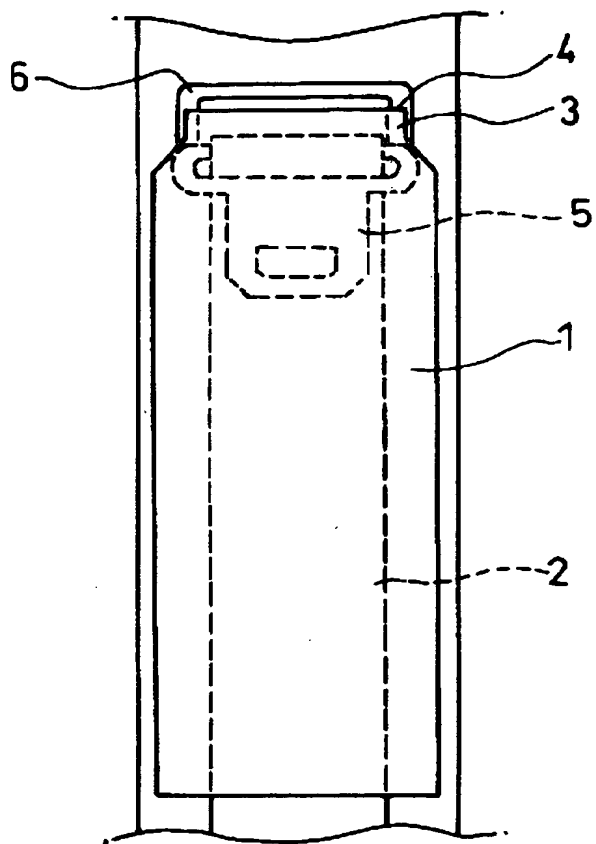
- 1 : シートベルトカバー
- 2 : シートベルト
- 3 : 上部
- 4 : 上端
- 5 : スルータング
- 6 : スリップガイド
- 7 : 中央切り欠き
- 8、8' : 端部切り欠き
- 9 : 下端
- 10 : 折れ線
- 11 : ポケット
- 12 : 携帯電話機
- 13 : マイクロホーン
- 14 : イヤホーン
- 15 : 延長コード
- 16 : 接続端子
- 17、17' : ストッパー付き巻き取り装置

【書類名】 図面

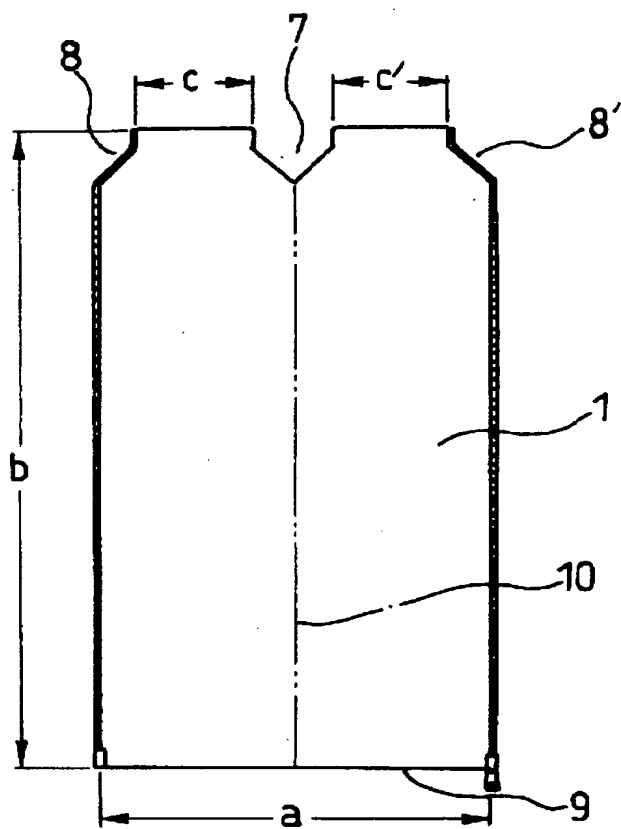
【図1】



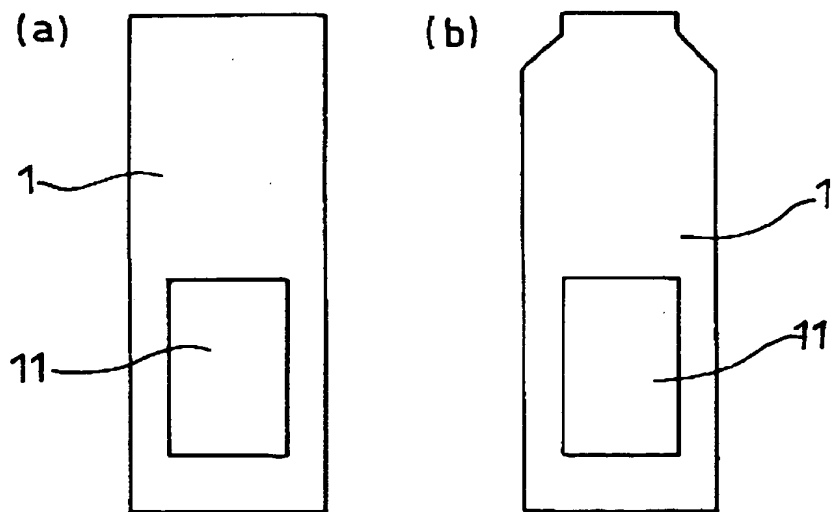
【図 2】



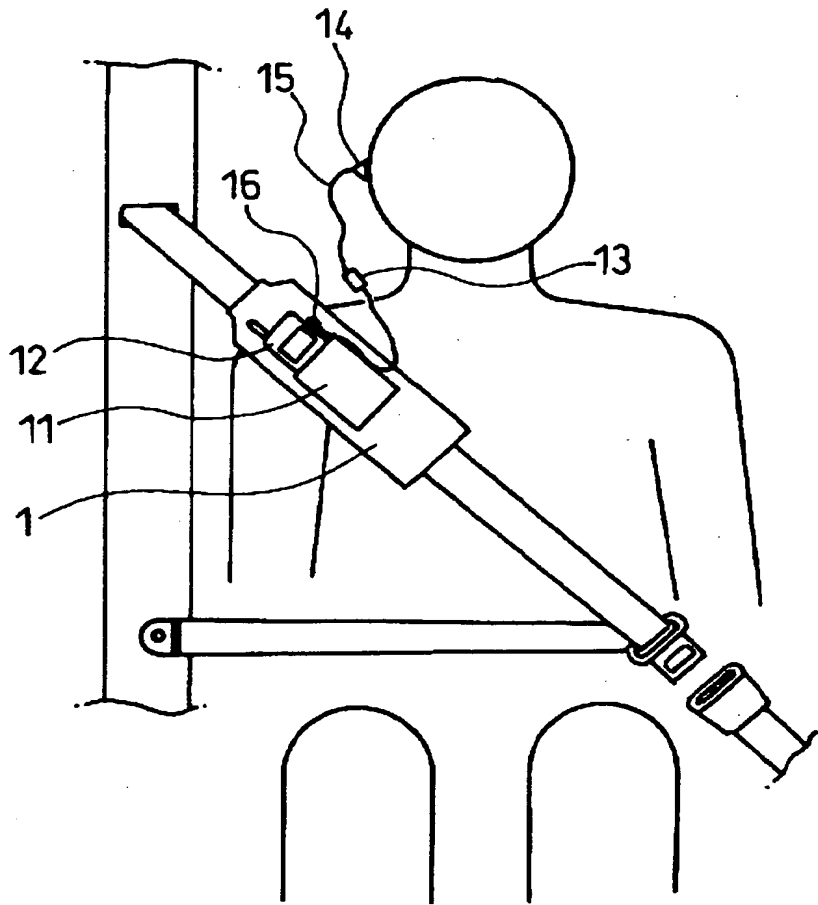
【図 3】



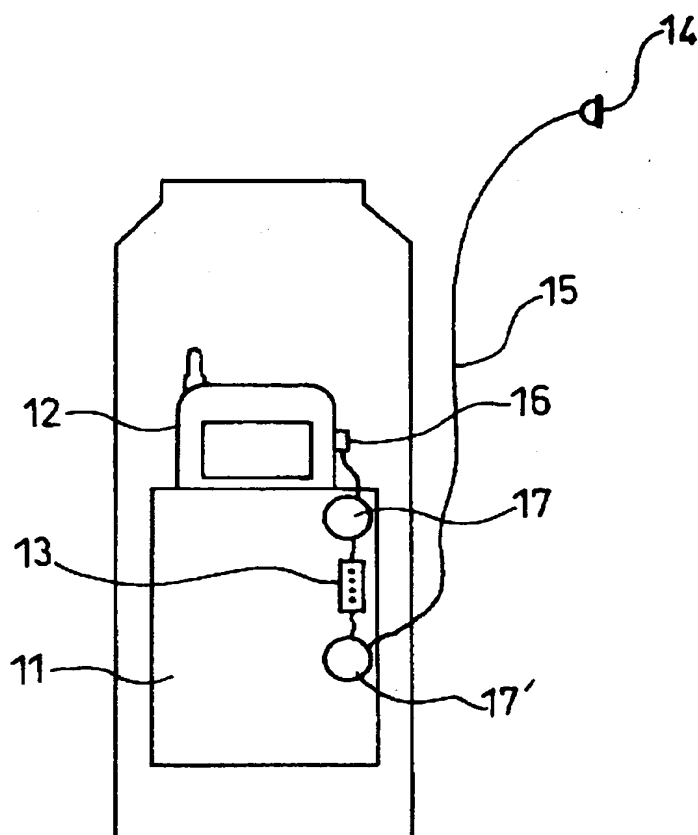
【図 4】



【図5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 シートベルトと衣服との摩擦を防止して、上着の肩や胸部等のテカリや擦り切れを防ぐことができるシートベルトカバー、及び自動車走行中に携帯電話で通話しても安全に運転をすることができるシートベルトカバーを提供する。

【解決手段】 自動車のシートベルト 2 を挿通して被包する平筒状体からなるシートベルトカバー 1 において、この平筒状体の下端 9 の幅はスルータング 5 の幅より大きくなっており、上部 3 は先細に絞られていて、その上端 4 はシートベルト 2 は通すがスルータング 5 は通さない幅になっているシートベルトカバー、及びシートベルトカバーと乗員との非当接側に携帯電話機保持用のポケットを設けたシートベルトカバー。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-255041
受付番号	50001078732
書類名	特許願
担当官	第三担当上席 0092
作成日	平成12年 8月30日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 8月25日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500400146]

1. 変更年月日	2000年 8月25日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都世田谷区桜新町2丁目10番4号
氏 名	エル・ジャポン株式会社